

---

# 想いは翳み気持ちは烟る

桜星 雨夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

想いは翳み気持ちは烟る

### 【Nコード】

N2476B

### 【作者名】

桜星 雨夜

### 【あらすじ】

それは、ある日の一日。彼が気付いた、惰性の関係。

久々の、休日。

泥のように眠って、目を覚ました頃には既に一日の半分以上が終わっていた。

ぼんやりとした頭を搔いて、青年はソファに腰を下ろす。

テレビをつけてみたものの、見たい番組は見つからない。

そのうちテレビの音声すら煩わしくなって、テレビの電源を切った。  
静寂。

落ち着かない気分にはなるものの、今の青年にはこちらの方が居心地が良い。

不意に長い間、恋人に会っていない事を思い出した。

電話はおろか、メールさえしていない。

前連絡を取ったのは何時だったろう      そんな事を思って、青年は自嘲した。

恋人。

好きな人。

愛している人。

会っていない事を「思い出す」ようでは、どうしようもない。

情性でずるずると続けているような関係だ。

このままいつそ、付き合っている事実さえ忘れてしまえば。

それでこの関係は自然消滅。

淡い色彩は翳んで、新たなものを探して。

何れはそんな色彩が在った事すら忘れてその上に他の色を重ねるに  
違いない。

向こうからも連絡はないし、同じような状態なのだろう。  
自分に恋人がいる事すら忘れているかもしれない。

「くだらねえ」

ハ、と鼻で笑って、青年の手は煙草を取り出す。

火をつけて煙を吸い込めば、身体中に染み渡る感覚。  
身体に悪いだなんて常套句は聞き飽きた。  
ないとやっていけないのだ、仕方ない。

少なくとも青年の中では、恋人よりも不可欠な存在だ。

片手で煙草を持ったまま、もう片方の手で携帯を取り出す。

開けば、そこに表示されているのは今日の日付と現在の時刻。

メールも着信もない。

受信ボックスを開いて、恋人からのメールを探す。

最後にメールが来たのは、今からもう1週間前だ。

『おやすみ、またメールするね』。

その一言で、メールのやり取りは締め括られていた。

また、とは便利な言葉だ。

何時なのか明確ではないから、便利すぎる。

連絡するのは一分後でもいいし、翌日でもいいし、一年後でもいい。  
忘れた頃にメールをしたって構わない。

時間の指定などしていかないのだから、約束には向かない。

連絡のない理由は、知らない。

事故に遭ったのだろうかなどと心配する事もない。

その時点で自分には既に恋人への愛情などないのだ。

好きだから付き合った。  
その筈、だったのに。

「くだらねえよなあ、ホントに…」

笑って、しまう程に。

変わってしまった。

失ってしまった。

時間が全てを奪っていったのだろうか。  
違う。

在った筈の感情を失ったのは、自分自身の責任だ。  
その感情を保つ努力をしなかった。

何も考えずに居れば、失うと知っていた筈なのに。

失くなっていく。

失っていく。

恋人のアドレスを呼び出した。

メールを作成。

打ち込んだ文章は、たった一言。

吟味する事もなく、青年はそのメールを送信する。

そのまま携帯を閉じて、自分の隣に放り出した。

溜め息をついて、瞼を下ろす。

取れない疲れが、全身を支配していた。

隣の携帯が、音を立てている。

着信音は、恋人のもの。

電話だな、なんて頭の片隅で考えた後、青年はその音を意識から締

め出した。

如何でもいい。

如何だっていい。

『別れようか』

想いが無い関係なんて

続けるだけ、無駄なのだ。

title : 「drizzle 霧雨 / 想いは翳み気持ちは烟  
る」 配布元 : 自主的課題 (http://mitti.cli  
ent.jp/) 様

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2476b/>

---

想いは翳み気持ちは烟る

2010年11月17日14時22分発行